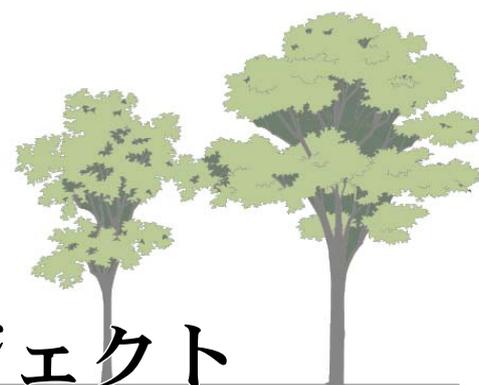


第5章 施策・プロジェクト



第5章 施策・プロジェクト

5-1 施策・プロジェクト体系

本計画の基本方針の実現及び基本目標の達成に向け、各目標に定めた施策の方向性を踏まえ、施策・プロジェクト体系を下図の通り整理した。

<基本方針>

誰もが幸福を実感できる暮らしを支え 住民とともに考え、育む公共交通
～将来のまちの姿・あり方を見据え、まちづくりと連携し、「コンパクト+ネットワーク」を実現～

<<基本目標 1>>

新市の「まちづくり」を支える新たな公共交通網の形成

市制移行、観光振興等の事業・施策と連動し、「まちづくり」と「交通」が一体となるとともに、鉄道駅や主要拠点の交通結節機能を強化し、地域特性に合った「コンパクト+ネットワーク」を実現します。

- ◇地域間幹線軸（路線バス）の維持・確保
- ◇地域内連携を見据えたネットワークの形成
- ◇まちづくり・観光と連携した施策展開

<<基本目標 2>>

誰でも・いつでも安心して利用できる交通環境の構築

待ち合い環境の改善や適切な案内・情報等の発信等を含めた環境改善により、市内外の誰もが迷わずに、わかりやすく安心して利用することができる交通環境を目指します。

- ◇公共交通における情報発信等の充実
- ◇交通拠点等における交通環境の改善
- ◇バス停環境の改善

<<基本目標 3>>

地域の特徴・特性に応じた交通サービスの提供

各地域の実態・特性・ニーズを踏まえ、最低限の「お出かけ」機会が提供できる地域の特徴・特性に応じた交通サービスを整備し、誰もが安心して暮らし続けることができる生活環境を構築します。

- ◇地域特性に応じた交通サービスの提供
- ◇交通弱者の外出支援
- ◇交通サービスの改善

<<基本目標 4>>

市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり

市民や商業、観光、学校など様々な主体と協働し、公共交通を考え、育て、支える体制・仕組みづくりを行うとともに、各主体が連動した利用促進に取り組み、交通の視点から地域活性化の寄与を目指します。

- ◇公共交通に対する市民意識の醸成
- ◇地域協働による公共交通維持に向けた活動支援
- ◇多様な主体と連携した取り組みの展開

1. 公共交通の利便性向上プロジェクト

施策 1-1: 地域間幹線軸の品質・サービス向上

- ①市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実
- ②拠点形成の変化に合わせた経路の見直し

施策 1-2: 市内移動における利便性向上

- ①市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討
- ②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

2. 公共交通の認知度向上プロジェクト

施策 2-1: 情報発信による認知度向上

- ①公共交通の案内・情報発信ツールの作成
- ②スマートフォン等を活用した情報発信

施策 2-2: イベント実施等による認知度向上

- ①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催
- ②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施

3. 公共交通の環境改善プロジェクト

施策 3-1: 交通拠点整備による利便性向上

- ①主要拠点の交通環境の強化・待ち合い環境の改善
- ②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善

施策 3-2: 利用しやすい交通体系の構築

- ①交通弱者に対する交通施策の展開
- ②乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善

4. 多様な主体と連携・協働プロジェクト

施策 4-1: 市民の公共交通に対する意識醸成

- ①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催
- ②地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討

施策 4-2: 協働・連携による体制づくり

- ①大学と連携した公共交通施策の展開
- ②モビリティマネジメントの推進
- ③交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施

5-2 公共交通の利便性向上プロジェクト

本プロジェクトの概要について、下表に示すとおりであり、各施策の実施内容については次頁より示す。

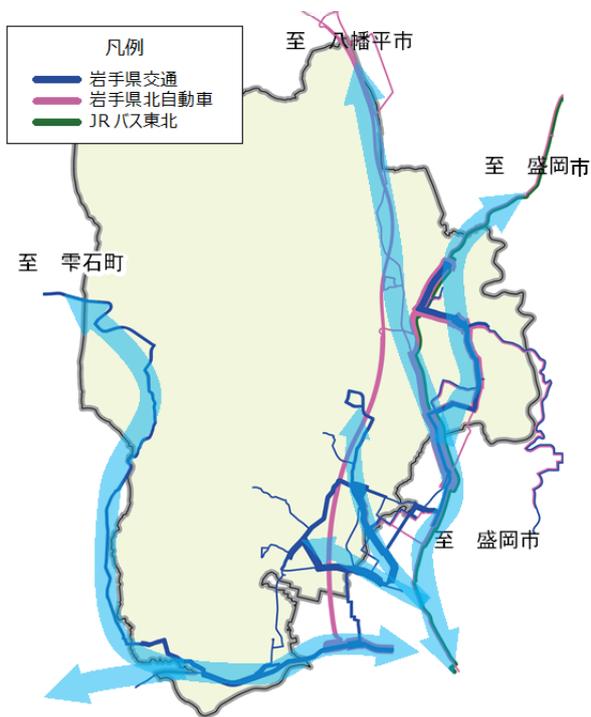
表 5-1 プロジェクトの概要

公共交通の利便性向上プロジェクト	
<ul style="list-style-type: none">・本市においては、通勤・通学や買い物、通院等の日常の生活を送る上で、盛岡市への移動需要が高くなっており、その特性に合わせ路線バスのネットワークが形成されている現状となっている。・本プロジェクトでは、盛岡市を含む隣接市町との協議・調整を踏まえ、利用者の多様なニーズに対応した交通サービスの維持・確保を図るとともに、本市における将来的なまちの姿を見据えた公共交通ネットワークを構築する。	
施策 1-1：地域間幹線軸の品質・サービス向上	
<ul style="list-style-type: none">・本市の各地域から隣接市町へ運行する路線を地域間幹線軸として位置づけて、交通サービスの維持・確保を図る。・公共交通ネットワークの更なるサービス強化に向けて、市内を主に運行する岩手県交通及び岩手県北自動車の2社における重複路線について、効率的かつ利便性の良い運行方法を検討する。・新たな誘客施設等の立地や新興地域等への転入による人口分布変化等の利用ニーズの変化に合わせた経路の見直し等について交通事業者と協議する。	
<ul style="list-style-type: none">① 市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実② 拠点形成の変化に合わせた経路の見直し	
施策 1-2：市内移動における利便性向上	
<ul style="list-style-type: none">・将来的なまちの姿を見据え、市内の主要拠点間における連携強化を図るため、地域内における新たな公共交通ネットワークを検討し、市役所周辺を中心としたコンパクト+ネットワークを構築する。・人口が広くに分布し、小さな移動需要が分散する中山間地域においては、既存の交通資源を活用した効率的な交通サービスの導入を検討し、各地域における移動手段を確保する。	
<ul style="list-style-type: none">① 市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討	

施策 1-1：地域間幹線軸の品質・サービス向上

①市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実

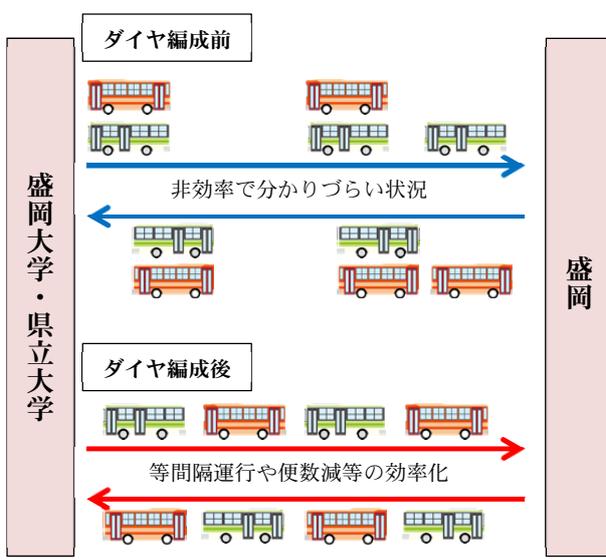
概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市と盛岡市を含む隣接市町を結ぶ路線バス系統について、地域間幹線軸として位置づけ、一定のサービス水準の維持・確保を図る。 地域間幹線軸のサービス向上に向けて、主要な2事業者（岩手県交通・岩手県北自動車）間が連携・調整したダイヤ編成について検討する。 					
実施主体	滝沢市、岩手県交通、岩手県北自動車、JRバス東北					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	事業者協議			路線網の見直し・事業者間の連携・調整		



▲本市における地域間幹線軸

▼事業者別幹線軸路線

事業者	路線名
岩手県交通	青山町線、南青山町線、盛岡北高線、青山松園線、イオンモール盛岡線、あすみ野箱清水線、みたけ箱清水線、松園北高線、みたけ西線、青山天神線、滝沢県立病院線、長橋台団地線、雫石線、繫・鶯宿線、巢子箱清水線、厨川中央線、松園盛岡大学線
岩手県北自動車	沼宮内線、盛岡大学線、県立大学線、巢子県立大学線、はんのき県立大学線、滝沢駅線、松園県立大学線、八幡平線、東八幡平線、平館八幡平線、平館線、大更線
JRバス東北	白樺号



▲新ダイヤ編成のイメージ図

▼事業者間協議によるメリット・デメリット

事業者	路線名
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 事業者間で運行間隔の調整がされ、わかりやすいダイヤ編成が可能 間隔調整により利便性が向上する一方、不要な便数を減少させ、効率化が図られる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 資源の活用、経営面での調整等、事業者間での綿密な調整が必要であり、協議の長期化等が懸念

施策 1-1：地域間幹線軸の品質・サービス向上

②拠点形成の変化に合わせた経路の見直し

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグループ滝沢の立地による滝沢市役所周辺における中心市街地としての機能向上や、今後新たな宅地造成等による人口分布の変化等を踏まえつつ、移動ニーズの変化に合わせて路線バスの運行経路の見直しを図る。 ・路線バスの目的地表示について、わかりやすい標記やピクトグラム等を活用した見やすさの改善を進めるとともに、路線バスの運行経路の再編・見直しにより運行経路のわかりやすさ改善を図る。 					
	実施主体	滝沢市、岩手県交通、岩手県北自動車、JRバス東北				
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	移動ニーズの変化の把握 事業者協議			路線網の見直し		



▲運行経路の見直しイメージ（市役所付近への経由の例）



バスの正面と側面にある電光掲示板に経由地・目的地をわかりやすく表示



▲現在の滝沢市役所行きのバス

施策 1-2：市内移動における利便性向上

①市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な拠点間を繋ぎ、市内における移動の利便性向上に向け、青山駅や厨川駅等での乗り継ぎ性を改善し、高頻度で運行する現行の路線バスを活用したネットワーク形成を図る。 ・ 青山駅・厨川駅は盛岡市に位置するが、滝沢市民の移動特性を考慮した際に重要な拠点となるため、当拠点における環境整備・機能向上について、交通事業者や盛岡市と協議を行う。 					
	実施主体	滝沢市、交通事業者				
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	改善に向けた盛岡市・交通事業者との協議			路線バスの見直し		



- ・ 東部地域から運行する路線バスを青山駅や厨川駅へ効率的に接続する運行について、交通事業者と協議・調整を図る
- ・ また、青山駅・厨川駅における乗り入れ及び乗り継ぎ等の接続環境の整備について、盛岡市と協議・調整を図る

現行路線を活用し、青山駅や厨川駅での乗り継ぎにより、東部地域と市役所付近の移動手段を確保

▲市役所付近への利便性向上のイメージ



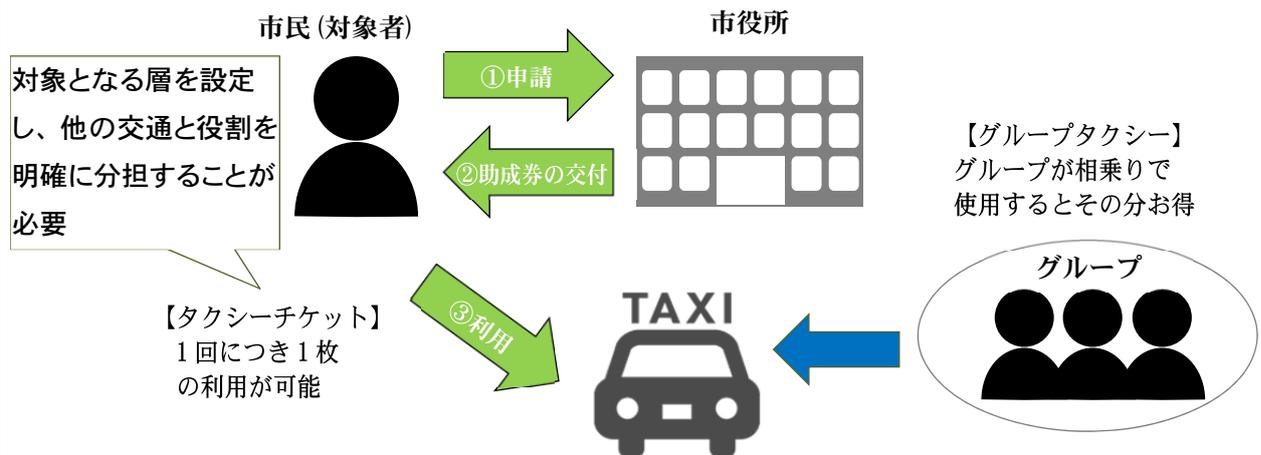
▲東部地区から市役所への乗り継ぎによるアクセスのイメージ

施策 1-2：市内移動における利便性向上

②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

概要	<ul style="list-style-type: none"> 主に中山間地の小集落が分散し、小さな交通需要が広い地域に分散する地域において、非効率な運行体系となっている福祉バス等の交通サービスに見直しをかけ、誰でも安心して外出できる環境を確保するため、既存の交通資源を活用し、効率的な交通サービスの導入を検討する。 					
実施主体	滝沢市、岩手県交通、岩手県北自動車、JRバス東北					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	導入に向けた検討 事業者協議		実証実験 見直し・改善	本格導入		

- バス停まで遠く、歩くことが困難な高齢者等が気軽に外出できる機会を創出するために、既存の交通資源であるタクシーの活用を検討
- 規定料金で一定の場所まで移動することが出来るタクシーチケットの配布やグループでの相乗りによりお得に利用できる仕組みづくり、デマンド型交通の運行などの様々な施策から各地域に適したやり方を検討し展開する



▲タクシーチケット・グループタクシーの導入イメージ

▼デマンド型交通の導入パターン

名称	概要
【パターン1】 定時定路線型	<ul style="list-style-type: none"> 運行ルートを決めて運行し、停留所で乗降 運行時間帯も設定されており利用者がいない場合は運休 通常の路線バスとほぼ同様の運行形態で予約が必要な方式
【パターン2】 区域運行型	<ul style="list-style-type: none"> 運行ルートを決めずエリアを運行し、乗降ポイントと目的地の連絡が必要 ドア to ドアのサービスのため、サービスレベルは高い 対象エリアが限定されるため、乗り継ぎが必要
【パターン3】 迂回運行型	<ul style="list-style-type: none"> 運行ルートの一部が予約専用ルートで、予約を受けた場合に限り、デマンドルートを行く 迂回運行が発生するため、待ち時間・所要時間が変化 定時定路線型に比べ、サービスレベルは高い

5-3 公共交通の認知度向上プロジェクト

本プロジェクトの概要について、下表に示すとおりであり、各施策の実施内容については次頁より示す。

表 5-2 プロジェクトの概要

公共交通の認知度向上プロジェクト	
<ul style="list-style-type: none">・公共交通の利用促進に向けては日常的な移動時において公共交通が選択肢の一つとして「入る」ことが重要であり、そのために情報提供や案内等の充実により、周知・PRが必要となる。・本プロジェクトでは、様々な方法・取り組みにより案内・情報の発信を行い、新たな利用者獲得を図るとともに、現状の利用者にとってもわかりやすく・利用しやすい環境に改善し、利便性の向上及び更なる利用の促進を図るものである。	
施策 2-1：情報発信による認知度向上	
<ul style="list-style-type: none">・公共交通に関する情報として公共交通マップや時刻表・運賃表等のツールによる発信や、大学生や転入者等に向けた公共交通の情報冊子等のツール提供による周知・PRを図る。・市広報等を活用した公共交通に関する情報提供により、公共交通に対する市民の意識の醸成を図る。・スマートフォン等を活用したSNS※3等によるリアルタイムな情報の発信やインターネット上での案内・情報の充実による、情報取得の簡略化や現状利用者の利便性向上を図る。	
<ul style="list-style-type: none">① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成② スマートフォン等を活用した情報発信	
施策 2-2：イベント実施等による認知度向上	
<ul style="list-style-type: none">・今後、公共交通の利用が見込まれる層（小中学生等）を対象としたバスの乗り方教室等の実施することで、公共交通に触れ合う機会を創出し、新たな利用者の取り込みを図る。・観光や商業等と連携し、利用者に魅力となるパッケージサービスや企画乗車券等を導入し、新たな利用者の取り込みを図る。	
<ul style="list-style-type: none">① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施	

※3 SNSとは、コミュニティ型のWEBサイト及びネットサービス（Twitter等）のこと

施策 2-1：情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成

概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進に向けて、各利用者層を対象とした公共交通の案内ツールを作成するとともに既存の公共交通マップの更新を随時行う。 市広報に掲載したコラム等を継続的に実施するとともに、回覧等による公共交通の案内掲載・情報発信を行う。 					
	実施主体 滝沢市、交通事業者					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	ツールの企画・作成			ツールの設置・配布・展開		



▲本市の公共交通マップ

▼案内ツールの導入イメージ

項目	内容
実施の狙い	公共交通の運行情報・案内等を配布
主要なターゲット	大学の新生、転入者、高齢者 等
発信する案内・情報	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通マップ 公共交通の利用ガイド 公共交通を利用した学校、病院までの行き方案内 等 ※紙媒体ツールを想定



「広報たきざわ」に掲載したコラム等の継続的な実施



▲市広報において掲載したコラム

▼回覧等による案内・情報発信

項目	内容
実施の狙い	回覧等を日常的に見る機会がある層に対し、公共交通に関する案内や情報等を発信
主要なターゲット	高齢者、主婦(夫)等
発信する案内・情報	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通マップ 時刻表、運賃表 企画乗車券等の情報 割引制度等の案内 等

施策 2-1：情報発信による認知度向上

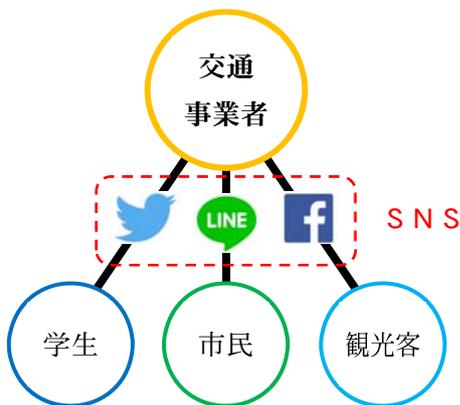
②スマートフォン等を活用した情報発信

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用したリアルタイムの情報発信サービス等の検討やQRコード・バス運行情報システム等の活用を含めた情報発信の検討を行う。 ・ 市の情報掲載アプリ「滝沢ナビ」を活用し、公共交通に関する案内・情報の発信を行う。 					
	実施主体 滝沢市、交通事業者					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	発信方法の検討		協議・調整		スマートフォン等による情報発信	

- ・ SNS等を活用し、不特定多数の利用者に対し情報を発信・拡散
- ・ 運行・運休情報等のリアルタイムの情報発信・提供が可能

岩手県北自動車ではツイッターを活用し、運行情報や臨時バスの運行等の案内を発信

QRコード等を用いたサイトへの誘導等により情報取得の簡略化等を検討



▲ SNSの活用イメージ

▲ 岩手県北自動車の実施事例



- ・ 主にスマートフォンを活用する若年層を対象とし、アプリを活用した情報発信を展開
- ・ 鉄道や路線バスの運行時刻表、公共交通マップの電子版、運賃表、利用ガイド等の様々な情報の掲載を検討
- ・ アプリ自体の普及に向けて、公共交通マップや利用促進ツールにアプリ取得QRコードの記載を行い、ミックスメディアによる活用を図る

▲ 滝沢ナビの活用

施策 2-2：イベント実施等による認知度向上

①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催

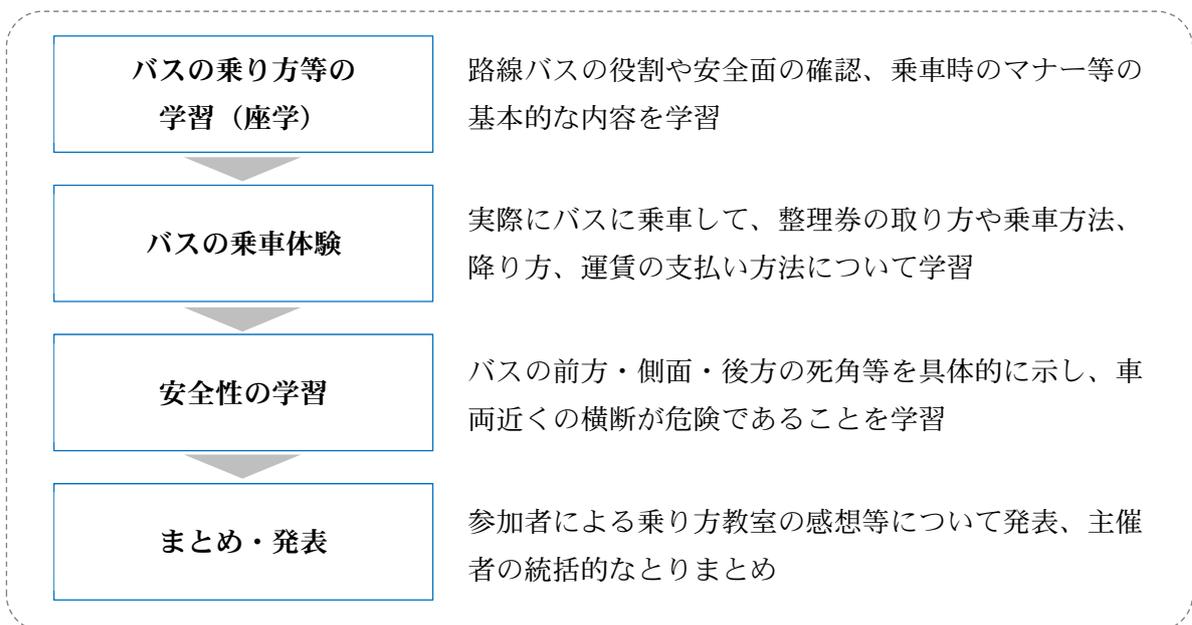
概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の認知度向上や潜在的なニーズ層における利用への転換を目的とし、バスの乗り方教室を実施する。 乗り方教室の実施対象は市内の小中学生等の次期利用者層をメインに開催する。 					
	実施主体 滝沢市、交通事業者					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	事業者協議 対象選定			定期的な乗り方教室の開催		

▼バスの乗り方教室の実施イメージ

項目	内容
実施の狙い	潜在的なニーズ層を対象に、バスの乗り方の体験やイベント等を実施し、新規利用への転換や公共交通に対する意識の醸成を図る
対象	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小・中学生 その他市民等



盛岡市ではバスの日まつりのイベントの一つとしてバスの乗り方教室を開催



▲乗り方教室のプログラムイメージ

施策 2-2：イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施

概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通と観光・商業等がタイアップし、利用者に魅力的で、滝沢市ならではの商品等を企画し、新たな利用者層の獲得を図る。 観光等と連携したバスパック等の商品や商業と連携した企画乗車券等、各主体と連携した取り組みを展開する。 					
	実施主体 滝沢市、関係機関（観光・商業）、交通事業者					
スケジュール	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	企画・検討		事業者協議		サービスの展開	

- 公共交通の往復の運賃と観光拠点等での入場料・飲食代・その他を全てパックにした企画商品
- 割引等を加え、通常通り利用するよりお得になるなど、利用者に魅力となるサービス付加により、利用を促進
- 基本的には既存路線を活用し、現行サービスの利用促進及び利用拡大を図る
- 本市単独での実施に留まらず、隣接市町と連携した取り組みを検討



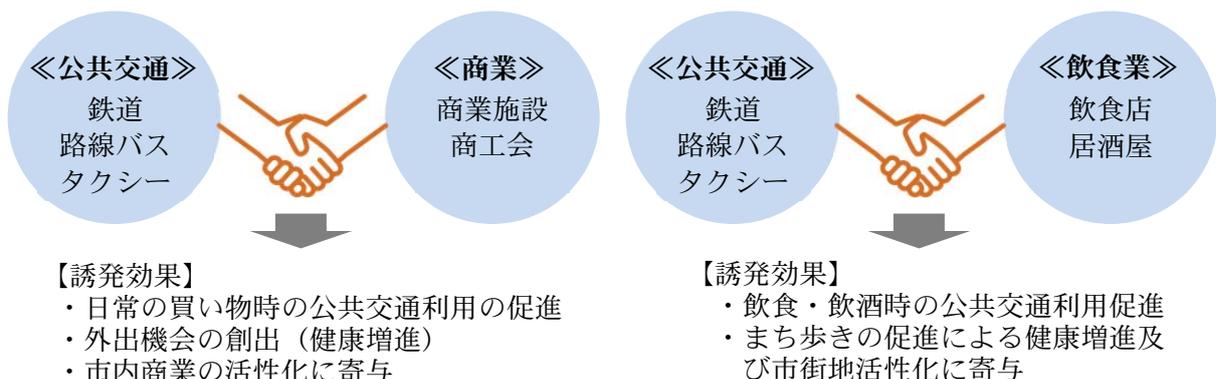
《公共交通》
・鉄道や路線バスの往復運賃
(現行路線)

《観光拠点》
・施設の入場料
・観光拠点での飲食代
・その他

たきざわキッチンや岩手山等と公共交通を組み合わせた企画など、公共交通と連携した取り組みを検討

▲観光パッケージ企画のイメージ

- 公共交通と商工会や商業施設、飲食店等が連携し、買い物代金や飲食代、利用運賃等の割引等を実施
- 公共交通の利用促進を図るとともに、まち歩きによる市街地活性化、商業活性化等の相乗効果の発現を図る
- 本市の特性を踏まえ、盛岡市等の隣接市町と連携した施策展開を検討



▲商業等との連携イメージ